



学校だより

# たくま

白鷹町立荒砥小学校 令和 2年 8月21日

## 2学期は「磨きます！」

校長 菅原 透



11日間という短い夏休みでした。でも子ども達は遊びの天才です。それぞれがすてきな思い出を作り、8月19日の始業式に“いい顔”で臨んでくれました。

その朝のことです。いつもの通り琢磨の校長像よろしくロータリーの芝生内に立ちました。週明けは子どものテンションがなかなか上がらず、おはようの音が小さかったり、伏し目がちに歩いたり、あいさつ名人は数多く期待できないところ。ましてや、夏休み明けなのでどうかなと思っていましたが、いやはや、ビックリ！「おはようございます」と言うすてきな声が響く響く！そして、私と目を合わせて「今日、元気に登校したよ」「お久しぶり！校長先生も元気ですね」と言う心の声をいっぱい届けてくれたのです。この朝の習慣を校長職に就いてからずっと続けていますが、これほどの姿は初めてでした。毎日、計画委員がその日の採点をします。この日はなんと94点！1学期最終日が95点であったことを考えると、その高いレベルを伺い知ることができます。1学期最後の学校だよりに「着実な歩み 確かな成長」と記させていただきましたが、それが改めて正しかったとお伝えします。

さて、2学期始業式で子ども達と共有したこと。それは「みがく」です。

1つ目のみがくはあいうえお名人。1学期のがんばり NO1 の名を挙げてみんなで高まり合うことを誓いました。あいさつ名人は小笠原正宗君、いい姿勢名人は

衣袋莉菜さん、鉛筆名人は川部聡太君、思いやり名人は紺野友愛さん（歌声名人は自粛中でしたので…）をめざします。

2つ目のみがくは、「みんなでがんばるくらす」を創ること。一人ひとりががんばるのはもちろんですが、競い合い励まし合い助け合うのがみんな。みんなががんばるクラスになれば、必ずやみんなががんばる琢磨校になる。それこそ、校は「琢磨」を追求することに他ありません。

そして、3つ目のみがくは生活。窮屈な毎日ですが、これをあたりまえにしないとまた休校になり、安定していた生活が元の木阿弥に。自ら感染予防に努めること。毎日学校に来れる状態を自分で築き上げることを約束しました。

2学期は89日です。子ども達の笑顔を求めて、また新たな学校生活を追求します。ご支援よろしくお願ひいたします。

### ◆メンコちゃんとの会話から◆

1日の校内放送で、その日が誕生日の人を紹介してくれます。実は始業式当日が私の誕生日で、紹介してもらったら…。

メ（廊下で）「校長先生、おめでとう」

メ「おめでとうございます」（多数）

メ「校長先生、何歳ですか」

校「25歳?!」

メ「えー!?何歳ですか」

校「25歳!」

メ「えー??ホント??」

校「…（絶句…ごめん…ちがいます）」

※自分はいつまでも若いと思っていますが、実はそうではない…。その後、職員から、校長は嘘をついてはいけないと教えられました。反省します…。

